賑々しく、

盛り上がりも例年

恩師の消息、クラスメイトの

前校舎の思い出、当時の世相 にないほどでありました。駅 催されました。本年はレデイ

が出席者四十五名を得て、 おいて、「秋高32会」の総会 ホテルメトロポリタン秋田に 平成二十一年九月十一日

七名、特に県外からの出席が スの出席が五名、又初参加が

十二名を数え、華やかにも

## **学寿を祝う**

# 昭和12年卒関東地区会



平成二十一年九月二十六日

秋高32会 総 会

近況等々時の経過を忘れるほ

ラブ)にて、全員満九十歳を 社境内の水交会(旧海軍のク 合って乾杯した。 越えた幸いを、お互いに祝い 当会員六名は、原宿・東郷神

遠路京都から駆けつけた福

写真を掲げます。(浦川 当方より十七名が参加し、秋 む一時を過ごし、来年五月の 員数は十二名。今回も心の和 その後半数が他界し現在の会 田の諸君に大いに喜ばれた。 で喜寿の祝賀会が行われた折、 落ちついた。平成八年、秋田 今回で五十八回になる。初期 再会を約して別れた。当日の 定年近くには、二十五名程に には会員の移動も多かったが、 始まり、以後毎年会合を行い 当地区会は昭和四十年秋に

### ンの女性も参加

### 昭和42年卒同期会

月五日、協働大町ビルで開催 る昭和四十二年卒同期会は九 毎年の恒例行事となってい

どで、 これから!ようやく半分ぐら 訪と、駅前繁華街へと繰り出 となく、《我らが人生、正に しました。 ました。更に校舎の跡地を探 いではないか》との結論に達 九名も集まり話題は尽きるこ し、意気軒昂たるものがあり ホテル内の二次会も十

り下さい。 感嘆致しました。又来年もそ その若さと、ゲンキの良さに 勇姿を見せに、秋田へお集ま の丈夫でバイタリティ溢れる なるほど「人生未だ半分」

(昭三十二年卒 国安志郎

した。今年から九月の第一土

### 昭和20年4卒同期会 席者は15 開

ものかと戸惑ってしまいまし こんなにも極端に寂しくなる して参加できない方が多く、 均余命を越えた現在体調を崩 の出席者は十五名。男性の平 テルを会場に開催した。今回 せて実施している同期の集い を、今年も秋田キャッスルホ 記念日である九月一日に合わ このところ毎年母校の開校

に花が咲き、時の経つのも忘 がってくると往事の珍談奇談 加の人も加え懐かしさもひと しお、杯を重ね会話が盛り上 それでも卒業以来初めて参

見せたほか、大学入学時から 曜日に毎年定例的に開催する に顔を見せて話題を集めた。 会員が初めて故郷での同期会 京都を離れたことがない男性 会員が久しぶりに元気な姿を 秋田にUターンしてきた女性 会となった。今回は二年前に つもながらのにぎやかな同期 武田武志両先生も加わってい ことに決めたものである。 い、これに当時の恩師幸野稔 当日は六十一名の仲間が集 もなく続いた。 るかに」を全員で声高らかに 君の軽快なリードで「天上は 唱。当時の応援団長池田和男 との近況談義はいつ果てると あちこちに話の輪ができて友 子片手の往来が激しくなり、 ともに宴会場はビールやお銚 イ!」、やがて時間の経過と 田豊史君の発声で「カンパ〜 締めはお決まりの校歌大合

員で斉唱して会を閉め、 れて話は尽きず、 「てんじょうはるかに」を全 散会した。(石井 最後は校歌



を約して散会しました。 再会 記